



令和2年度

浜松市美術館年報

2020

# 目次

<b>I</b>	<b>令和2年度 展覧会年間スケジュール</b>	1
<b>II</b>	<b>展覧会事業</b>	
1	企画展 仲山計介展	2～4
2	特別展 くまのパディントン展	5～11
3	企画展 国芳から芳年へ展	12～17
4	館蔵品展 大画面にみる洋画展	18～19
5	公募展 個展	20
6	公募展 浜松市 第68回市展	21～22
<b>III</b>	<b>教育普及事業</b>	
1	団体鑑賞	23
2	ギャラリートーク	23
3	講演会	23
4	ワークショップ	23
5	出前講座	23
6	職場体験	23
7	公募展	23
<b>IV</b>	<b>館内案内</b>	
1	館内案内図	24

## 美術館概要

浜松市美術館は、1971（昭和46）年7月に、市制60周年を記念し、静岡県内初の公立美術館として浜松城公園内に開館しました。建設費のうち約1／3が市民の寄附による市民参加の美術館です。

収蔵品の特色として内田コレクションを基礎とする18～19世紀の伝統的ガラス絵が挙げられます。ガラス絵は、民衆的絵画（民画）の代表的なもので480点を所蔵し、西洋・中国・日本と系統的に現代までの歴史をたどることができます。他に民画として、泥絵や「鬼の念仏」など大津絵の優品もあります。

また初代広重、葛飾北斎、歌川派などによる遠江ゆかりの浮世絵版画672点、中国・高麗・李朝にわたる東洋陶磁、東洋の石仏・金銅仏合わせて341点は、民画とともにコレクションの中心をなしています。

このほか北川民次や水野以文、秋野不矩、野島青茲ら静岡県出身の作家の作品、津田青楓の晩年の書画をはじめ日本の近代絵画や2,514点の現代の版画なども収蔵されています。

30年3月には、トラックヤード増築・全館空調システムの改修を行ったことで天候に左右されない作品の運搬や、さらに質の高い作品の展示が可能となりました。



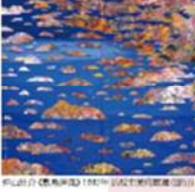
# I 令和2年度 展覧会年間スケジュール



## 浜松市美術館 2020年度 展覧会スケジュール

■企画展 ■特別展 ■公募展 ■館藏品展

※日程等については、その都度、広報紙・チラシでお知らせします。美術館のホームページでも案内しています。※スケジュールは、都合により日程・内容等を変更することがあります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p><b>企画展</b></p> <p>「仲山計介展」 エオンター存在するモノ達— 4月25日(土)～6月14日(日)</p> <p>関和正自身の日本画展「仲山計介」や、集合体を使った彫刻的かつダイナミックな表現から生み出される抽象表現、アクリル絵具や彫刻を用いた独自の技法によって造られる「いとし」の輝きは、どこか現代美術を彷彿とさせます。 本展では仲山の代名詞「エンタングルズ」(「エンタングル」)をはじめ、本展のために書き下ろされた新作を公開いたします。浜松市が生んだ唯一の二の日本画展「仲山計介」の目には見えない存在の表現をのぞいてください。</p>  <p>仲山計介 (徳島県) 1947～2016 (没後) 第1回展覧会</p>	<p><b>特別展</b></p> <p>「くまのバディントン展」 7月11日(土)～9月13日(日)</p> <p>「バディントン」シリーズは、イギリスを代表する児童文学です。物語の主人は2人。スタッフコートに帽子をかぶったお赤鬼と紳士な子グマです。 本展では、1998年の誕生から現在まで世界中で愛され続けている「バディントン」の魅力を、お赤鬼と子グマの両方の視点から紹介いたします。さまざまな作家による絵本や漫画の展開などを通じて紹介します。</p>  <p>パドレー・ベアとグマ くまのバディントンの誕生地、イギリス © Illustrated by Peggy Fortnum © Paddington and Company Ltd 2019</p> <p>パドレー・ベアとグマ くまのバディントンの誕生地、イギリス © Illustrated by Peggy Fortnum © Paddington and Company Ltd 2019</p>	<p><b>企画展</b></p> <p>初巻浮世絵 「国芳から芳年へ」 9月26日(土)～11月8日(日)</p> <p>寛政から明治にかけての浮世絵の時代、豊かな高度文化が花開きを遂げた。その代表者が「国芳から芳年へ」である。この展覧会では、国芳の浮世絵の傑作150点を紹介します。また、国芳の浮世絵の傑作150点を紹介します。また、国芳の浮世絵の傑作150点を紹介します。</p>  <p>国芳の浮世絵 国芳の浮世絵の傑作150点を紹介します。また、国芳の浮世絵の傑作150点を紹介します。また、国芳の浮世絵の傑作150点を紹介します。</p>	<p><b>館藏品展</b></p> <p>「館藏品展」 11月24日(火)～12月20日(日)</p> <p>浜松市美術館が所蔵するコレクションの数々を紹介いたします。 浜松市美術館の所蔵するコレクションの数々を紹介いたします。また、浜松市美術館の所蔵するコレクションの数々を紹介いたします。</p>  <p>浜松市美術館が所蔵するコレクションの数々を紹介いたします。また、浜松市美術館の所蔵するコレクションの数々を紹介いたします。また、浜松市美術館の所蔵するコレクションの数々を紹介いたします。</p>	<p><b>企画展</b></p> <p>「みほとけのキセキ」 遠州・三河の寺宝展 3月25日(木)～4月25日(日)</p> <p>遠州・三河地方の寺宝が浜松市美術館に展示されるのは初めてのことです。 早稲一庵主筆制作の仏像を複数の遠く遠くから集めた。また、遠州・三河の寺宝が浜松市美術館に展示されるのは初めてのことです。早稲一庵主筆制作の仏像を複数の遠く遠くから集めた。また、遠州・三河の寺宝が浜松市美術館に展示されるのは初めてのことです。</p>  <p>遠州・三河の寺宝が浜松市美術館に展示されるのは初めてのことです。早稲一庵主筆制作の仏像を複数の遠く遠くから集めた。また、遠州・三河の寺宝が浜松市美術館に展示されるのは初めてのことです。</p>							
<p><b>第53回浜松市子どもの市展</b> 1月6日(水)～1月20日(水)</p> <p><b>浜松市第68回市展</b> 2月2日(火)～2月12日(金)</p>											

## 浜松市美術館 休館日カレンダー 2020～2021 Calendar

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

**【利用案内】**

観覧時間 午前9時10分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休 館 日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)  
年末年始 12月29日～1月3日 及び 祭日(祭日当日は休館し、開館は1日遅れとなります。お盆(8月13日～15日)は休館日ではありません。)

観 覧 料 観覧料は無料です。  
※観覧料は別途発行のチケットでお知らせいたします。

**浜松市美術館**  
〒430-0947 静岡県浜松市中区松原1-100番地01  
TEL 053-464-6461 FAX 053-464-6429  
www.city.hamamatsu.lg.jp/museum/index.htm  
http://www.city.hamamatsu.lg.jp/museum/index.htm  
浜松市美術館で検索してください

浜松市美術館公式SNS  
Twitter Facebook Instagram



浜松市美術館の地図は、浜松市美術館の所在地を示しています。近隣の駅や施設も記載されています。

## Ⅱ 展覧会事業

### 1. 仲山計介展—エオンタ 存在するモノ達—

種 別	企画展
会 期	令和2年4月25日（土）～令和2年6月14日（日） ※新型コロナウイルス感染症防止のため5月17日（日）まで臨時休館
主 催	浜松市
共 催	中日新聞東海本社
休 館 日	月曜日（※5月4日（月）は開館。7日（木）は休館。）
観 覧 料	一般：600円（480円） 大学生・専門学校生・高校生：400円（320円） 20名以上の団体：（ ）内の料金（1人あたり） 中学生以下：無料、70歳以上：当日料金の半額 障がい者手帳等所持者及びその介護者1名：無料
担 当	島口 直弥（学芸員）



ポスター



展示風景

#### 趣 旨

浜松市出身の日本画家・仲山計介。手や体全体を使った即興的かつダイナミックな表現から生み出される抽象表現、アクリル絵具や銀箔を用いた独自の技法によって放たれる「いぶし銀」の輝きは、どこか現代美術を彷彿とさせる。仲山計介の代名詞「エオンタ」シリーズは、固定概念に囚われることなく、目には見えない「存在」を「表現」し続ける画家としての前衛的な姿が垣間見える。本展では描き下ろしの新作8点を含めた、浜松市が生んだ唯一無二の日本画家・仲山計介の「表現」29点を一堂に展示する。

会期中のイベント（※すべてのイベントは新型コロナウイルス感染症防止のため中止。）

○対談「仲山計介（本展作家）×野地耕一郎（泉屋博古館分館長）」

5月16日（土）14：00～15：30 2階講座室 予約不要 要観覧料

○ワークショップ「デカルコマニーで表現しよう」

講師：仲山計介（本展作家）

5月30日（土）14：00～16：00 2階講座室

参加費：200円

申込方法：浜松市美術館宛てに「①参加者氏名、②年齢、③電話番号」をご記入

○ギャラリートーク

5月23日（土）・6月6日（土）14：00（30分程度）

申込不要 要観覧料

会場：浜松市美術館  
会期：2020年4月25日(土)～6月14日(日)

# 仲山計介展 — エオンタ 存在するモノ達 —

## 出品目録

### 第1章 | エオンタシリーズ

作品名	制作年	表現・技法	寸法(cm)
エオンタ1980	1980(昭和55)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	117 × 92
エオンタ9003	1990(平成2)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	117 × 92
エオンタ1974	1974(昭和49)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント	92 × 117 (3枚組)
光景図	1996(平成8)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	113 × 226
エオンタ天外天	1993(平成5)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔 / 絹	145 × 360
エオンタ5403	1979(昭和54)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント	91 × 117
エオンタ6003	1985(昭和60)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	176 × 111
孤	2006(平成18)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント	136 × 130 (2枚組)
エオンタ1995	1995(平成7)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	160 × 160

### 第2章 | 新作

作品名	制作年	表現・技法	寸法(cm)
彼岸へ	2019(令和元)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	119 × 273
エオンタ2019	2019(令和元)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	136 × 94 (3枚組)
ささなみ	2019(令和元)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	139 × 300
兆し(きざし)	2020(令和2)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	171 × 180
修験の地	2019(令和元)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	120 × 276
調べ(しらべ)	2019(令和元)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント	90 × 280
垂迹	2019(令和元)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント	135 × 282
風神・雷神	2019(令和元)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	208 × 420

### 第3章 | 鳥図シリーズ

作品名	制作年	表現・技法	寸法(cm)
空に昇る鳥	1994(平成6)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	227 × 195
敷島屏風	1992(平成4)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	160 × 360
聖地巡行	2020(令和2)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	171 × 384
洛中洛外図屏風	1981(昭和56)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔 / 絹	132 × 260
日月図	1994(平成6)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	162 × 130 (2枚組)

### 第4章 | 四季シリーズ

作品名	制作年	表現・技法	寸法(cm)
彩秋	2002(平成14)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	91 × 116.7
春陽	2003(平成15)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	132 × 158
四季日月山水図屏風	2006(平成18)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	180 × 1,092
HATERU-MA屏風	2013(平成25)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	130 × 720
雪国	1992(平成4)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	131.5 × 162.5
四温光	2006(平成18)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント	183 × 552
春陽山水	1997(平成9)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	113 × 226
四季日月山水図	1996(平成8)年	紙本 / 岩絵の具 / アクリルエマルジョン / 膠 / ピグメント / 金属箔	162 × 99

※一部実際の展示順と異なる箇所があります。

## Ⅱ 展覧会事業

### 2. くまのパディントン展

種 別	特別展
会 期	内覧会 令和2年7月10日(金) 一般公開 令和2年7月11日(土)～9月13日(日) 実質会期 61日間
主 催	浜松市、静岡新聞・静岡放送
協 賛	ニューカラー写真印刷株式会社
後 援	ブリティッシュ・カウンシル
協 力	コピーライツアジア、(公財)東京子ども図書館、福音館書店、理論社、WAVE出版、日本航空
監 修	松岡享子(東京子ども図書館名誉理事長)
学術協力	三宅興子(梅花女子大学名誉教授)/河野芳英(大東文化大学教授)
企画協力	毎日新聞社
休 館 日	月曜日(※8月は無休)
観 覧 料	一般:1,200円(960円) 大学生・専門学校生・高校生:800円(640円) 小・中学生600円(480円) ( )内の料金は前売り料金 20名以上の団体:(2割引) 70歳以上:当日料金の半額 障害者手帳等所有者及びその介護者1名:無料 ※静岡県内の小学生は無料(キッズアートプロジェクト) ※教育優待制度にて浜松市内の中学校に在籍中の生徒は無料、磐田市、袋井市、森町、湖西市の中学校に在籍中の生徒は半額。(生徒手帳又は身分証明書要提示)
担 当	榛葉 公作(学芸員)



ポスター



イベント用フォトスポット

## 趣 旨

イギリスの作家、マイケル・ボンド氏（1926-2017/6/27）の児童書『パディントン』シリーズは、1958年の誕生以来、40以上の言語に翻訳・出版され、世界的な名作として愛されています。4コマ漫画や絵本、アニメーションやグッズとしても広く普及し、日本でも多くの企業がイメージキャラクターとしてプロモーションに採用しています。

パディントンがロンドンで引き起こす様々な楽しい冒険には、ボンド氏の平和への祈り、言論の自由、知る権利など人類共通のメッセージが込められています。

また、2014年には実写版の映画が世界各地で（日本では2016年に）公開されました。映画第2弾は2018年1月に日本で公開され、第3弾も企画されています。今後、ますますパディントンが世界中の広い世代の人々に親しまれる機会となるでしょう。

児童書の第1作発表から60周年となる2018年に記念展覧会として開催した本展では、児童書の挿絵でおなじみのペギー・フォートナムをはじめ各アーティストによる絵本や漫画などの原画、世界中で出版された書籍、ボンド氏の仕事道具など約300点を展示します。さらに生前のボンド氏のインタビュー（2016年12月撮影）など貴重な映像も放映し、今なお愛され続けるパディントンの世界を紹介します。

## 関連事業

### ■写真撮影

「パディントンがやってくる！」

日 時：【第1回】7月26日（日）1回目午前10時00分～午前10時30分

2回目午後14時00分～午後14時30分

【第2回】8月23日（日）1回目午前10時00分～午前10時30分

2回目午後14時00分～午後14時30分

会 場：浜松市美術館内 講座室

対 象：当日観覧者【希望制】

定 員：各回50組(先着順)

開始1時間前より美術館入口にて1組1枚整理券の配布

参加費：観覧料のみ

申込み：なし

感染症対策：時間を区切って2回に分け、整理券と組数を決めることで列を極力をつくらせないよう工夫する。

### ■「くまのパディントン展 文字探しゲーム」

日 時：開催期間中

会 場：浜松市美術館 第1・2展示室

対 象：中学生まで【希望制】

定 員：なし ※プレゼントについてはなくなり次第終了

参加費：観覧料のみ

申込み：なし

感染症対策：使用する文具を1回使ったら消毒できるようなタイプにしてこまめな消毒を行う。

※受付で専用用紙をもらい、すべて埋めた用紙を受付で提出してグッズをもらう。

■ SNS 投稿キャンペーン「先着でパディントングッズプレゼント！」

日 時：開催期間中

会 場：浜松市美術館 第1・2 展示室

対 象：高校生以上

定 員：なし ※プレゼントについてはなくなり次第終了

参加費：観覧料のみ

申込み：なし

- ① 来館者は、SNS（Twitter・Instagram・Facebook・Line タイムライン）にパディントン展来館の様子について投稿する。（フォトスポット有）
- ② 来館者は、SNS 投稿画面を受付で提示し、グッズを受け取る。
  - ※ グッズについては物販業者から提供あり。
  - ※ 1 投稿 1 回に限る。2 回投稿や別のアプリで投稿した場合は、その数だけ渡すがその文面は、媒体に載せない。あくまで【1 投稿 1 回限り】

■ 来場者 10000 人記念

- ・ 該当者に写真撮影とグッズのプレゼント

# くまのパディントン™展

## 出品目録

浜松市美術館

会期 令和2年7月11日(土)～9月13日(日)

作家	作品名	製作年	素材技法	図録掲載
<b>第I章 パディントンの物語</b>				
	パディントン駅に設置されているパディントンの銅像(複製)			
	パディントン駅の時刻表	1958年		
	パディントンの奥地帽(映画版複製)	2015年		
ベギー・フォートナム	『くまのパディントン(A Bear Called Paddington)』の挿絵原画	1958年	ペン・インク、紙	28
ベギー・フォートナム	「パディントン」シリーズの挿絵(複製) 80点			8-27、ほか
ベギー・フォートナム	『パディントン街へ行く(Paddington Goes to Town)』の挿絵(複製) 3点			
<b>第II章 パディントン誕生秘話</b>				
	マイケル・ボンドが原稿をタイプするのに使用していたタイプライター	1960年代		
	マイケル・ボンドが家族の写真を撮る際に使っていた箱型カメラ	1930年代		
	マイケル・ボンドの署名入り『パディントンのラストダンス(Paddington Takes the Air)』(初版)	1970年	書籍	
	マイケル・ボンドが使用していたオックスフォード英語辞典			
	オックスフォード・ストリート(正面奥にセルフリッジ百貨店)	1952年	写真	48
	マイケル・ボンドの署名入り写真			54
	マイケル・ボンドの初期作品が掲載されている雑誌『ロンドン・オピニオン』(1947年8月号、1949年9月号、1949年10月号、1949年クリスマス号、1952年6月号)	1947-52年	雑誌5冊	49
	マイケル・ボンド作Jumping in at The Deep End: On Writing for Childrenに掲載されたベギー・フォートナムによるパディントンの挿絵	1980年		
ラッセル・アッシュユ/マイケル・ボンド	The Life and Times of Paddington Bear(くまのパディントンの生涯)	1988年	書籍	
マイケル・ボンド	自叙伝Bears & Forebears: A Life so Far(ベアズ・アンド・フォーベアズ)	1996年	書籍	
ジュニファー・ウォーナー	The Unofficial History of the Paddington Bear(非公式パディントン史)	2014年	書籍	
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド署名入りの手紙	1993年 9月20日		
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド自筆の手紙	1979年 7月24日		
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド署名入りの手紙	2017年 5月29日		
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド署名入りの手紙	2015年 11月9日		
	パディントン宛てのファンレター(3通)			
	パディントンのパベットアニメシリーズが銀メダルを受賞したニューヨークのテレビ映画祭の賞状	1979年		
	マイケル・ボンドの署名入りグリーティング切手シート	1994年		
<b>第III章 世界のパディントン</b>				
マイケル・ボンド作/フレッド・バンベリー画	絵本『パディントンのかいもの』(中村妙子訳、偕成社)	1973年	書籍	
フレッド・バンベリー	絵本『パディントンのかいもの(Paddington Goes Shopping)』の原画 7点	1973年	水彩、紙	59-63
フレッド・バンベリー	絵本『パディントンのかいもの(Paddington Goes Shopping)』の下絵 2点	1973年	ペン・インク・色鉛筆・クレヨン・鉛筆、紙	62
マイケル・ボンド作/フレッド・バンベリー画	絵本『パディントン サーカスへ』(中村妙子訳、偕成社)	1973年	書籍	
フレッド・バンベリー	絵本『パディントン サーカスへ(Paddington at the Circus)』の原画	1973年	水彩、紙	63
フレッド・バンベリー	絵本『パディントン サーカスへ(Paddington at the Circus)』の下絵	1973年	ペン・インク・色鉛筆、紙	
マイケル・ボンド作/ジョン・ロバン	絵本『パディントン、えきにあられる』(青山南訳、ほるぷ出版)	1993年	書籍	
ジョン・ロバン	「ブラウン夫妻、駅でパディントンと出会う」	1992年	ペン・水彩、紙	70
マイケル・ボンド作/デイビッド・マッキー画	絵本『パディントンのアイスクリーム』(神島統夫訳、アリス館)	1985年	書籍	
デイビッド・マッキー	絵本『パディントンのアイスクリーム(Paddington and the Knickerbocker Rainbow)』の原画 2点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	66
マイケル・ボンド作/デイビッド・マッキー画	絵本『パディントンのてんらんかい』(神島統夫訳、アリス館)	1985年	書籍	
デイビッド・マッキー	絵本『パディントンのてんらんかい(Paddington's Painting Exhibition)』の原画 10点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	64
マイケル・ボンド作/デイビッド・マッキー画	絵本『パディントンとゆうえんち』(神島統夫訳、アリス館)	1985年	書籍	
デイビッド・マッキー	絵本『パディントンとゆうえんち(Paddington at the Fair)』の原画 15点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	65
デイビッド・マッキー	絵本Paddington Minds the House(パディントン家事をする)の原画 9点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	67

作家	作品名	製作年	素材技法	図録掲載
デイビッド・マッキー	絵本 <i>Paddington at the Palace</i> (パディントンと宮殿)の表紙原画	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	
デイビッド・マッキー	絵本 <i>Paddington at the Palace</i> (パディントンと宮殿)の原画 9点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	66
デイビッド・マッキー	絵本 <i>Paddington and the Marmalade Maze</i> (パディントンとママレード迷路)の表紙原画	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	
デイビッド・マッキー	絵本 <i>Paddington and the Marmalade Maze</i> (パディントンとママレード迷路)の原画 11点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	68
デイビッド・マッキー	絵本『パディントンのふしぎなクリスマス ( <i>Paddington's Magical Christmas</i> )』の原画 3点	1980年代	ペン・水彩・色鉛筆、紙	69
R.W.アリー	絵本『クマのパディントン ( <i>Paddington</i> )』の原画 8点	2007年	ペン・インク・水彩、紙	71-73
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本 <i>Paddington in the Garden</i> (パディントンのにわづり)	2002年	書籍	
R.W.アリー	絵本『パディントンのにわづり ( <i>Paddington in the Garden</i> )』の表紙原画(部分)	2002年	ペン・インク・水彩、紙	73
R.W.アリー	絵本『パディントンのにわづり ( <i>Paddington in the Garden</i> )』の原画 3点	2002年	ペン・インク・水彩、紙	73
R.W.アリー	絵本『パディントンの金メダル ( <i>Paddington Goes for Gold</i> )』の原画 5点	2012年	ペン・インク・水彩、紙	74
R.W.アリー	絵本『パディントンのママレード迷路 ( <i>Paddington and the Marmalade Maze</i> )』の表紙原画(部分)	1999年	ペン・インク・水彩、紙	75
R.W.アリー	絵本『パディントンのママレード迷路 ( <i>Paddington and the Marmalade Maze</i> )』の原画 3点	1999年	ペン・インク・水彩、紙	75
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本 <i>Paddington and the Christmas Surprise</i> (パディントンのクリスマス)	2008年	書籍	
R.W.アリー	絵本『パディントンのクリスマス ( <i>Paddington and the Christmas Surprise</i> )』の表紙原画	2014年	ペン・インク・水彩、紙	76
R.W.アリー	絵本『パディントンのクリスマス ( <i>Paddington and the Christmas Surprise</i> )』の原画 4点	1997年	ペン・インク・水彩、紙	76
R.W.アリー	絵本『パディントンのサーカス ( <i>Paddington at the Circus</i> )』の原画 4点	2000年	ペン・インク・水彩、紙	77
マイケル・ボンド作/ アイバー・ウッド画	絵本 <i>Paddington's Pop-Up Book</i> (パディントンの飛び出す絵本)	1977年	書籍	
<b>世界のパディントン</b>				
ベギー・フォートナム画	『パディントンの一周年記念 ( <i>Paddington Helps Out</i> )』の表紙原画	1960年		
マイケル・ボンド	デンマーク語版『くまのパディントン ( <i>A Bear Called Paddington</i> )』(初版)	1961年	書籍	
マイケル・ボンド	オランダ語版『くまのパディントン ( <i>A Bear Called Paddington</i> )』		書籍	
マイケル・ボンド作/ アイバー・ウッド画	絵本 <i>Paddington's Party Book</i> (パディントンのパーティーブック)	1976年	書籍	
マイケル・ボンド	ヘブライ語版『パディントンのクリスマス ( <i>More About Paddington</i> )』		書籍	
マイケル・ボンド	アイスランド語版『くまのパディントン ( <i>A Bear Called Paddington</i> )』	1971年	書籍	
マイケル・ボンド	韓国語版『くまのパディントン ( <i>A Bear Called Paddington</i> )』	1999年	書籍	
マイケル・ボンド	ラテン語版『くまのパディントン ( <i>A Bear Called Paddington</i> )』	1999年	書籍	
マイケル・ボンド	ノルウェー語版『パディントンとテレビ ( <i>Paddington at Large</i> )』	1976年	書籍	
マイケル・ボンド	フランス語版絵本 <i>Paddington in the Kitchen</i> (パディントンとキッチン)	1978年	書籍	
マイケル・ボンド	『くまのパディントン ( <i>A Bear Called Paddington</i> )』17版	1981年	書籍	
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本 <i>Paddington at the Zoo</i> (パディントンと動物園)	1998年	書籍	
マイケル・ボンド/フレッド・バンベリー画	絵本『くまのパディントン ( <i>Paddington Bear</i> )』	1972年	書籍	
マイケル・ボンド	ポルトガル語版『パディントンの一周年記念 ( <i>Paddington Helps Out</i> )』	2000年	書籍	
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	ロシア語版絵本『くまのパディントン』/『パディントンのにわづり』(2巻1組)	2008年	書籍(2巻1組)	
マイケル・ボンド	スペイン語版『くまのパディントン』	1999年	書籍	
マイケル・ボンド	スウェーデン語版 <i>The Adventures of Paddington</i> (パディントンの冒険)	1966年	書籍	
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	フィンランド語版絵本『パディントンのにわづり』	2009年	書籍	
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	ハンガリー語版絵本『クマのパディントン』	2008年	書籍	
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	ポーランド語版絵本『くまのパディントン』	2007年	書籍	
マイケル・ボンド、カレン・ジャンゲル作/ R.W.アリー画	絵本 <i>Paddington Goes to Hospital</i> (パディントン病院に行く)	2001年	書籍	
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本 <i>Paddington Bear My Scrapbook</i> (パディントンの切り抜き帳)	1999年	書籍	
マイケル・ボンド	オランダ語版『パディントン ( <i>Paddington</i> )』	1963年	書籍	
マイケル・ボンド	中国語版『パディントンの大切な家族 ( <i>Paddington on Top</i> )』(出版50周年記念版)	2008年	書籍	
マイケル・ボンド作/R.W.アリー画	絵本 <i>Paddington and the Grand Tour</i> (パディントンとグランド・ツアー)	2003年	書籍	
<b>日本とパディントン</b>				
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『くまのパディントン』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1967年	書籍	52, 82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントンのクリスマス』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1968年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントンの一周年記念』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1969年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントン フランスへ』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1970年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントンとテレビ』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1971年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントンの煙突掃除』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1977年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントン 妙技公開』(松岡享子訳、福音館書店、初版)	1989年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントン街へ行く』(田中琢治/松岡享子訳、福音館書店、初版)	2008年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントンのラストダンス』(田中琢治/松岡享子訳、福音館書店、初版)	2008年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントンの大切な家族』(田中琢治/松岡享子訳、福音館書店、初版)	2008年	書籍	82

作家	作品名	製作年	素材技法	図録掲載
マイケル・ボンド作/R.W.アラー画	『クマのパディントン』(木坂涼訳、理論社)	2012年	書籍	82
マイケル・ボンド作/R.W.アラー画	『パディントンのにわづり』(木坂涼訳、理論社)	2013年	書籍	82
マイケル・ボンド作/R.W.アラー画	『パディントンの金メダル』(木坂涼訳、理論社)	2013年	書籍	82
マイケル・ボンド作/R.W.アラー画	『パディントンのマーマレード迷路』(木坂涼訳、理論社)	2015年	書籍	82
マイケル・ボンド作/R.W.アラー画	『パディントンのクリスマス』(木坂涼訳、理論社)	2017年	書籍	82
マイケル・ボンド作/R.W.アラー画	『パディントンのサーカス』(木坂涼訳、理論社)	2017年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム画	『パディントン、テストをうける』(三辺律子訳、WAVE出版)	2017年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム、R.W.アラー画	『パディントンのどろぼう退治』(三辺律子訳、WAVE出版)	2018年	書籍	82
マイケル・ボンド作/ ベギー・フォートナム、R.W.アラー画	『パディントン、映画に出る』(三辺律子訳、WAVE出版)	2018年	書籍	82
福音館書店	パディントン出版50周年記念リブレット『パディントン大好き!』	2008年	書籍	
マイケル・ボンド	マイケル・ボンド氏から松岡享子氏への手紙	1974年		79
田中琢治	田中琢治氏から松岡享子氏への手紙			80
<b>第IV章 パディントン大活躍</b>				
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンと性格診断機」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	84
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ママレードのネットワークを手がける」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	85
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 大きい小さい」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	86
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンの鳥笛」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	88
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ビルエットをする」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	87
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ブラウンさんの奥さんにプレゼントを贈る」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	89
アイバー・ウッド	4コマ漫画「手品師のパディントン」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	89
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 自分のピンテージマーレードを掘り出す」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	92
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 水やりをする」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	93
アイバー・ウッド	4コマ漫画「水泳のパディントン グリース」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	93
アイバー・ウッド	4コマ漫画「水泳のパディントン アームフロート」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	94
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 精神分析医のソファで」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	95
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン シネマへ」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	95
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンの思い出 寝ること」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	98
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ギターを弾く」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	98
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 1曲吹く」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	100
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 「キングコング」を読む」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	99
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 偉大な芸術家」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	99
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンのなぞなぞ」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	102
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ワイン試飲会で」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	102
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ミステリーツアー」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	103
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 買い物かご」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	104
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン グランドコンサートで」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	106
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン 絵を描く」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	106
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン ピンテージワイン」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	107
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンとメイボール」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	108
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントンと花火」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	108
アイバー・ウッド	4コマ漫画「パディントン トランプをする」の原画	1978年	ペン・ポスターカラー、 紙・フィルム	109

作家	作品名	製作年	素材技法	図録掲載
フィルムフェア社	パベットアニメ「パディントン」で使用されていた登場人物	1974-83年		
マイケル・ボンド	パベットアニメ第2話「クマとお風呂」の台本			
フィルムフェア社	パベットアニメのための小道具	1974-83年		
アイバー・ウッド	パベットアニメで使われたウィンザー・ガーデン32番地の玄関のセットとパディントンの可動パベット	1974年-1983年		
アイバー・ウッド	商品化のためのアイデア画 8点	1970年代後半	ペン・ポスターカラー、紙	110-113
バリー・メイシー	商品化のためのアイデア画	1980年	ペン・ポスターカラー、水彩、紙・フィルム	114
バリー・ウィルキンソン	<i>Paddington Goes to Work</i> (パディントン仕事に行く)の原画 2点	1970年代		
バリー・ウィルキンソン	「パディントンの家」のストーリーボード 16点			
ガブリエル・デザインズ社製	クラシック・パディントン	1980年		
エンフィールド・ボックス社製	スーツケース	1980年		
ガブリエル・デザインズ社製	パディントン(オペラ)	1981年		
ガブリエル・デザインズ社製	パディントン(パベット)	1974年		
ガブリエル・デザインズ社製	パディントン(ラグビー)	1980年		
ガブリエル・デザインズ社製	パディントン(ゴルフ)	1981年		
ガブリエル・デザインズ社製	ルーシーおばさん	1978年		
セキグチ社製	モヘア・パディントン ベア(木箱付300体限定モデル#226)	2002年		
カンタベリー・ベアーズ社製	パディントン ベア	2001年		
レインボー・デザインズ社製	パディントン ベア	2000年代		
レインボー・デザインズ社製	ガブリエル社製モデルの限定パディントン	2001年		
R.ジョン・ライ社製	パディントン ベア	2002年		
エデン社製	クリスマス パディントン ベア(ボードブック <i>Paddington's Holiday Fun!</i> 付き)	1996年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2003年		
シュタイフ社製	パディントン ベア(オーナメント)	2004年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2005年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2005年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2007年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2007年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2008年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2009年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2010年		
シュタイフ社製	パディントン ベア(キーリング)	2012年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2012年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2014年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2015年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2017年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2017年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2017年		
シュタイフ社製	パディントン ベア(オーナメント)	2007年		
シュタイフ社製	パディントン ベア	2014年		
	パディントン関連雑貨			
バーナード・クリピンス歌	EPLレコード「くまのパディントン( <i>Paddington Bear</i> )」	1974年		
ロバートソンズ社製	パディントン ベアのママレードプレミアムセット	2010年		
ロイターボーセリン社製	パディントン ベアの食器セット	1998年		
<b>第V章 おわりに</b>				
	マイケル・ボンドのサイン	2016年12月		
ペギー・フォートナム	『パディントン、テストをうける( <i>Paddington Takes the Test</i> )』の挿絵原画	1979年	ペン・インク、紙	117

\*展示は必ずしもリストの掲載順ではありません。

\*一部の展示品については、煩雑になるのを避けるため項目をまとめています。

\*制作年が不明の場合は空欄になっています。

\*図録掲載頁の表記がない一部の展示品は、図録に掲載されていません。

## Ⅱ 展覧会事業

### 3. 挑む浮世絵 国芳から芳年へ 展

種 別	企画展
会 期	令和2年(2020) 9月26日(土)から11月8日(日)まで(38日間)
主 催	浜松市、中日新聞東海本社、テレビ静岡
企画協力	名古屋市博物館
特別協賛	セキスイハイム東海
協 賛	野崎印刷紙業
休 館 日	月曜日
観 覧 料	大人：1,200円(960円)、大学・高校・専門学校生：800円(640円) 小・中学生600円(480円) ※( )内は前売および20名以上の団体料金 ※70歳以上は、当日料金の半額。 ※障害者手帳所持者及び介護者1名は無料 ※団体割引：20名以上は当日料金の2割引 ※静岡県の小学生は「キッズアートプロジェクトしずおか」ミュージアムパスポート提示で無料 ※浜松市内中学生は無料。磐周地区・湖西市内の中学生は、当日料金の半額。 ※チラシ割引は100円引。
担 当	増井 敦子(学芸員)



チラシ



会場風景

## 1. 企画趣旨

幕末から明治にかけての激動の時代、豊かな表現力で武者絵を描いた歌川国芳と「最後の浮世絵師」「血みどろの絵師」の異名を持つ月岡芳年たち「芳」の名前を継いだ弟子たちの浮世絵作品 150 点を紹介いたします。

迫力あるワイドスクリーンに繰り広げられるヒーローたちの活躍や、目も覆うばかりの残酷な場面に隠された繊細な技術など新たな境地に挑んだ絵師たちの心意気をご覧ください。

## 関連事業

### ■＜講演会＞「芳の遺伝子」

日 時：10月11日（日）午後2時～3時30分（午後1時40分開場）

講 師：津田 卓子 氏（名古屋市博物館 本展企画学芸員）

定 員：20名程度（先着順 当日9時30分から整理券を配布）

聴講料：無料（要観覧料）

挑む  
浮世絵

# 国芳が芳年へ



歌川国芳「浮世よび久志」(高木繁コレクション)部分  
名古屋市博物館蔵

会期 令和2年9月26日(土)～11月8日(日) 浜松市美術館

No.	作者名	作品名	制作年代	判型(様式)
1	歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之一人 花和尚魯知深初名魯達	文政10年(1827)頃	大判
2	勝川春亭	源頼光酒呑童子退治	文政2年(1819)	大判三枚続
3	歌川国芳	大江山酒呑童子	嘉永4年(1851)	大判三枚続
4	歌川国芳	源頼光土蜘蛛退治	文政年間(1818～30)後期	大判三枚続
5	歌川国芳	朝比奈三郎鰐退治	嘉永2年(1849)	大判三枚続
6	歌川国芳	將軍太郎良門 蛙の力あらい	弘化元～3年(1844～46)	大判三枚続
7	歌川国芳	児雷也と大蝦蟇	嘉永5年(1852)	大判三枚続
8	歌川国芳	龍宮玉取姫之図	嘉永6年(1853)	大判三枚続
9	歌川国芳	誠忠義士伝 六 吉田定右工門兼貞	弘化4～嘉永元年(1847～48)	大判
10	歌川国芳	誠忠義士聞書之内 討入本望之図	嘉永5年(1852)	大判三枚続
11	歌川国芳	二十四孝童子鑑 楊香	天保14～弘化元年(1843～44)	大判
12	歌川国芳	源三位頼政鶴退治	文政年間(1818～30)後期	大判三枚続
13	歌川国芳	源三位頼政鶴退治	天保14年(1843)	大判三枚続
14	歌川国芳	宇治川合戦之図	弘化元～3年(1844～46)	大判三枚続
15	歌川国芳	宇治川合戦之図	嘉永2年(1849)	大判三枚続
16	歌川国芳	忠臣蔵十一段目 両国橋勢揃図	文政10年(1827)頃	大判三枚続
17	歌川国芳	八犬伝之内芳流閣	天保11年(1840)	大判三枚続
18	歌川国芳	列猛伝 源三位頼政	弘化2年(1845)頃	長大判
19	歌川国芳	列猛伝 宮本武三四	弘化2年(1845)頃	長大判
20	歌川国芳	真勇競 弁慶	弘化2年(1845)頃	長大判
21	歌川国芳	弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叡山へ引揚る図	弘化2～3年(1845～46)頃	大判三枚続
22	歌川国芳	吉野山合戦	嘉永4年(1851)頃	大判縦三枚続
23	月岡芳年	清玄墮落之図	明治22年(1889)	大判縦二枚続
24	歌川国芳	唐土廿四孝 関子騫	嘉永年間(1848～54)	中判
25	歌川国芳	唐土廿四孝 董永	嘉永年間(1848～54)	中判
26	歌川国芳	和漢準源氏 乙女 天羅国班足王 悪狐葦陽夫人頭	安政2年(1855)	大判
27	歌川国芳	甲越川中島大合戦	嘉永5年(1852)	大判三枚続
28	歌川国芳	川中島合戦対陣図	弘化元～3年(1844～46)	大判三枚続
29	歌川芳宗	身延山合戦之図	嘉永2年(1849)	大判三枚続
30	歌川国芳	曾我致宗本意を達し右幕下の本陳へ切込捕るゝ図 曾我夜討之図	弘化元～3年(1844～46)	大判六枚続
31	月岡芳年	敵ヶ原大合戦之図	明治元年(1868)	大判六枚続
32	歌川国芳	相馬の古内裏	弘化2～3年(1845～46)頃	大判三枚続
33	歌川国芳	白井権八と亀菊 山中団九郎を討つ	弘化4～嘉永3年(1847～50)	大判三枚続
34	歌川国芳	誠忠義臣名々鏡 ち 堀部矢兵衛金丸	安政4年(1857)	大判

すべて名古屋市博物館蔵

No.	作者名	作品名	制作年代	判型(様式)
35		英名二十八衆句 目録	慶応3年(1867)	大判
36	月岡芳年	英名二十八衆句 勝間源五兵衛	慶応2年(1866)	大判
37	月岡芳年	英名二十八衆句 遠城喜八郎	慶応3年(1867)	大判
38	月岡芳年	英名二十八衆句 団七九郎兵衛	慶応2年(1866)	大判
39	月岡芳年	英名二十八衆句 御所五郎蔵	慶応2年(1866)	大判
40	月岡芳年	英名二十八衆句 因果小僧六之助	慶応2年(1866)	大判
41	月岡芳年	英名二十八衆句 白井権八	慶応3年(1867)	大判
42	月岡芳年	英名二十八衆句 福岡貢	慶応3年(1867)	大判
43	月岡芳年	英名二十八衆句 高倉屋助七	慶応3年(1867)	大判
44	月岡芳年	英名二十八衆句 姐妃の於百	慶応2年(1866)	大判
45	月岡芳年	英名二十八衆句 古手屋八郎兵衛	慶応3年(1867)	大判
46	月岡芳年	英名二十八衆句 稲田九蔵新助	慶応3年(1867)	大判
47	月岡芳年	英名二十八衆句 直助権兵衛	慶応3年(1867)	大判
48	月岡芳年	英名二十八衆句 笠森於仙	慶応3年(1867)	大判
49	月岡芳年	英名二十八衆句 由留木素玄	慶応3年(1867)	大判
50	落合芳幾	英名二十八衆句 十木伝七	慶応2年(1866)	大判
51	落合芳幾	英名二十八衆句 遠城治左工門	慶応3年(1867)	大判
52	落合芳幾	英名二十八衆句 鬼神於松	慶応3年(1867)	大判
53	落合芳幾	英名二十八衆句 げいしや美代吉	慶応3年(1867)	大判
54	落合芳幾	英名二十八衆句 佐野治郎左工門	慶応3年(1867)	大判
55	落合芳幾	英名二十八衆句 邑井長庵	慶応3年(1867)	大判
56	落合芳幾	英名二十八衆句 天日坊法策	慶応2年(1866)	大判
57	落合芳幾	英名二十八衆句 国沢周治	慶応3年(1867)	大判
58	落合芳幾	英名二十八衆句 西門屋啓十郎	慶応3年(1867)	大判
59	落合芳幾	英名二十八衆句 春藤治郎左工門	慶応3年(1867)	大判
60	落合芳幾	英名二十八衆句 鳥井又助	慶応3年(1867)	大判
61	落合芳幾	英名二十八衆句 鞠ヶ瀬秋夜	慶応3年(1867)	大判
62	落合芳幾	英名二十八衆句 仁木直則	慶応3年(1867)	大判
63	落合芳幾	英名二十八衆句 浜島正兵衛	慶応3年(1867)	大判
64	月岡芳年	東錦浮世稿談 幡随院長兵衛 神田伯勇	慶応3年(1867)	大判
65	月岡芳年	魁題百撰相 鬼小島弥太郎	明治元年(1868)	大判
66	歌川国芳	信州川中 鴛百勇将戦之内 真田喜兵衛昌幸	天保14~弘化3年(1843~46)	大判
67	歌川国芳	文月の七夕	天保年間(1830~44)中期	大判
68	歌川国芳	清月の月	天保年間(1830~44)中期	大判
69	歌川国芳	縞揃女弁慶 唇を見る美人	弘化元年(1844)	大判
70	歌川国芳	江戸じまん名物くらべ こま達のなす	弘化元~3年(1844~46)	中判
71	歌川国芳	大願成就有ヶ瀧縞 文覚上人	弘化元~3年(1844~46)	大判
72	歌川国芳	註文御詠染 あいねつミ	嘉永5年(1852)	団扇絵判
73	歌川芳重	睦月 中万字屋内錦木	天保年間(1830~44)	大判
74	歌川芳員	稲本屋内小稲	安政年間(1854~60)頃	大判
75	歌川芳盛	当世夏景色	嘉永年間(1848~54)頃	大判

すべて名古屋博物館蔵

No.	作者名	作品名	制作年代	判型(様式)
76	落合芳幾	新吉原角街稲本楼ヨリ仲之街仁和賀一覽之図	明治2年(1869)	大判三枚続
77	月岡芳年	古今比女鑑 秋色	明治8~9年(1875~76)	大判
78	月岡芳年	皇都会席別品競 久保町売茶亭 春本いく	明治11年(1878)	大判
79	歌川国芳	山海めでたいつゑ 十 天気にしたたい 土佐鯉節	嘉永5年(1852)	大判
80	歌川国芳	山海愛度図会 五十七 はやく酔をさましたい 豊前小倉篇	嘉永5年(1852)	大判
81	月岡芳年	見立多以尽 おしやくがしたい	明治11年(1878)	大判
82	月岡芳年	見立多以尽 とりけしたい	明治11年(1878)	大判
83	月岡芳年	見立多以尽 洋行がしたい	明治11年(1878)	大判
84	月岡芳年	見立多以尽 手があらひたい	明治11年(1878)	大判
85	月岡芳年	風俗参十二相 かゆさう 嘉永年間 かこみものの風ぞく	明治21年(1888)	大判
86	月岡芳年	風俗三十二相 暗さう 明治年間妻君の風俗	明治21年(1888)	大判
87	歌川国芳	織越大領政知	嘉永4年(1851)	大判二枚組のうち右
88	歌川国芳	四代目中村歌右衛門死絵	嘉永5年(1852)	大判
89	歌川国芳	日本駄右工門猫之古事	弘化4年(1847)	大判三枚続
90	歌川芳虎	螢狩り	文久2年(1862)	大判
91	落合芳幾	第二番目 三題咄高座新作	文久3年(1863)	大判三枚続
92	落合芳幾	見立橋弁慶	慶応3年(1867)	大判三枚続
93	月岡芳年	二代目沢村訥升の前田利家 市川左団次の佐久間盛政 沢村源平の三法師君 五代目坂東彦三郎の羽柴秀吉 九代目市川団十郎の柴田勝家	明治9年(1876)	大判三枚続
94	歌川国芳	立美人図	天保年間(1830~44)中期	絹本着色
95	月岡芳年	文殊菩薩図	明治	絹本着色
96	歌川国芳	としよりのよふな若い人だ	弘化4年(1847)頃	大判
97	歌川芳艶	見立忠義むすめ	弘化4~嘉永3年(1847~50)	大判
98	歌川国芳	流行猫の戯 身の臭姪色時	弘化4年(1847)頃	大判
99	伝歌川国芳 (遠浪斎重光か)	深見草獅子彩色	弘化4~嘉永元年 (1847~48)	大判
100	歌川国芳	亀喜妙々	嘉永元年(1848)頃	大判三枚続
101	歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	天保13~14年(1842~43)	大判三枚続
102	歌川国芳	駒くらべ盤上太平棋	天保14年(1843)	大判三枚続
103	歌川国芳	駒くらべ将棋のたはむれ はだか玉将・まってくんねへまたねへ……	天保14年(1843)頃	中判二丁掛
104	歌川国芳	流行逢都絵希代稀物	嘉永元年(1848)頃	大判三枚続
105	歌川国芳	浮世又平名画奇特	嘉永6年(1853)	大判二枚続
106	歌川国芳	里すゝめねぐらの仮宿	弘化3年(1846)	大判三枚続
107	歌川国芳	きたいなめい医難病療治	嘉永3年(1850)	大判三枚続
108	歌川芳虎	道外武者 御代の若餅	嘉永2年(1849)	大判
109	歌川国芳	二代目竹沢藤次曲独楽 九尾の狐三国渡	弘化元年(1844)	大判
110	歌川国芳	二代目竹沢藤次曲独楽 お岩稲荷	弘化元年(1844)	大判
111	歌川国芳	浅草奥山生人形	安政2年(1855)	大判二枚続
112	歌川国芳	当盛見立人形の内 二かい座敷の図	安政3年(1856)	大判二枚続
113	歌川芳虎	流行菊花揃 巢鴨通 植木屋弥三郎	弘化元年(1844)	大判

すべて名古屋博物館蔵

No.	作者名	作品名	制作年代	判型(様式)
114	歌川芳盛	浅茅ヶ原一ツ家之古図 師匠之筆意二習らつて	安政2年(1855)	大判
115	歌川国芳	当盛見立人形之内 一ツ家之図	安政3年(1856)	大判二枚続
116	歌川国芳	安達原一ツ家之図	安政3年(1856)	大判二枚続
117	歌川国芳	観世音靈験	天保13年(1842)か	大判三枚続
118	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 四十八 大久手 一ツ家老婆	嘉永5年(1852)	大判
119	月岡芳年	一魁随筆 一ツ家老婆	明治5年(1872)	大判
120	月岡芳年	奥州安達がはらひとつ家の図	明治18年(1885)	大判縦二枚続
121	月岡芳年	月百姿 孤家月	明治23年(1890)	大判
122	歌川国芳	大物の浦平家の亡霊	嘉永2~4年(1849~51)	大判三枚続
123	歌川芳艶	為朝誉十傑 白縫姫 崇徳院	安政5年(1858)	大判三枚続
124	歌川芳艶	太平記焼山越之図	文久元年(1861)	大判三枚続
125	歌川芳艶	矢島海底図	文久元年(1861)	大判三枚続
126	歌川芳房	清盛布引滝遊覧義平靈難波討図	安政3年(1856)	大判三枚続
127	歌川芳員	頼光山中二妖怪見る図	嘉永2~4年(1849~51)	大判三枚続
128	歌川芳員	外国写真鏡之図	万延元年(1860)	大判
129	歌川芳藤	端午の節句	嘉永5年(1852)	大判
130	歌川芳藤	清正朝鮮国ヨリ日本ノ富士ヲ見ル図	明治20年(1887)	大判三枚続
131	歌川芳虎	肉芝道人蛙合戦	元治元年(1864)	大判三枚続
132	歌川芳虎	鹿兎嶋の女軍隊力戦の図	明治10年(1877)	大判三枚続
133	落合芳幾	東京日々新聞 百十一号	明治7年(1874)	大判
134	落合芳幾	東京日々新聞 七百四十八号	明治7年(1874)	大判
135	月岡芳年	川中瀧大合戦	慶応2年(1866)	大判三枚続
136	月岡芳年	西郷隆盛切腹図	明治10年(1877)	大判三枚続
137	月岡芳年	一魁随筆 山姥 怪童丸	明治6年(1873)	大判
138	月岡芳年	名誉八行之内 孝日野阿若丸	明治11年(1878)	大判
139	月岡芳年	大日本名将鑑 道臣命	明治13年(1880)	大判
140	月岡芳年	芳年略画 志渡の浦玉取蟹 雷公行水	明治15年(1882)	中判二丁掛
141	月岡芳年	東名所墨田川梅若之古事	明治16年(1883)	大判三枚続
142	月岡芳年	修紫田舎源氏	明治17年(1884)	大判三枚続
143	月岡芳年	祐天不動の長剣を呑む図	明治18年(1885)	大判三枚続
144	月岡芳年	新撰東錦絵 延命院日当話	明治18年(1885)	大判二枚続
145	月岡芳年	新撰東錦絵 生嶋新五郎之話	明治19年(1886)	大判二枚続
146	月岡芳年	月百姿 高倉月 長谷部信連	明治18年(1885)	大判
147	月岡芳年	月百姿 四条納涼	明治18年(1885)	大判
148	月岡芳年	月百姿 信仰の三日月 幸盛	明治19年(1886)	大判
149	月岡芳年	月百姿 吼噓	明治19年(1886)	大判
150	歌川国芳	浮世よしづ久志	弘化3~嘉永元年(1846~48)	大判二枚続
151	尾崎久弥著	『江戸軟派研究』第1編第1~19冊、『浮世絵と類廃派』	大正11~13年(1922~24)、 大正14年(1925)	一式
152	高木繁著	『武者絵の復活』および原稿	昭和13年(1938)	一式

no.151、no.152は参考出品

すべて名古屋市博物館蔵

## Ⅱ 展覧会事業

### 4. 館蔵品展「大画面にみる洋画展」

種 別	館蔵品展
会 期	令和2年11月24日（火）～12月20日（日）
会 場	浜松市美術館
主 催	浜松市
観 覧 料	大人310円、高校生150円 中学生以下・70歳以上・障害者手帳等所持者及び介護者1名は無料
担 当	内山 智恵（学芸員）



ポスター



展示風景

#### 趣 旨

浜松市美術館では、1971年（昭和46）に開館して以来、今日まで地域ゆかりの作品や名品、ガラス絵等を収集してまいりました。来る2021年には、開館50周年を迎えます。

本展では、凡そ半世紀をかけて構築した7,000点を超えるコレクションの中から、東海地方ゆかりの現代作家による大画面の洋画を展示いたします。大画面の作品を仕上げることは決して簡単なことではありません。画面に向かう作家の心意気や、作品のもつエネルギーを探りながら、各々の世界観をお楽しみください。

また、全国各地での展示を経て、久々の地元公開となる岸田劉生の《草と赤土の道》や新収蔵作品を同時に紹介いたします。

どうぞ、作品と対話をしながらご鑑賞ください。

#### 会期中のイベント

- ・当館学芸員による作品解説

→ 新型コロナウイルス肺炎の影響により中止

# 大画面にみる洋画展

## 館蔵品展

浜松市美術館

会期 令和2年11月24日(火)～12月20日(日)

### 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	備考
1	岸田劉生	小児の肖像	1915年 (大正4)	
2	岸田麗子	李朝の壺画賛		画帖『美愛真』より
3	岸田劉生	草と赤土の道	1915年 (大正4)	
4	岸田劉生	三果一菜図	1923年 (大正12)	

### 【大画面洋画】

No.	作家	作品名	制作年	備考
5	宇佐美圭司	作品 No.2	1962年 (昭和37)	
6	宇佐美圭司	ホリゾント	1993年 (平成5)	アクトシティ大ホール 緞帳原画
7	岡田徹	春夏秋冬の春	1980年 (昭和55)	第40回美術文化展
8	岡田徹	春夏秋冬の夏	1980年 (昭和55)	第40回美術文化展
9	岡田徹	春夏秋冬の秋	1980年 (昭和55)	第40回美術文化展
10	岡田徹	春夏秋冬の冬	1980年 (昭和55)	第40回美術文化展
11	山内泉	昼		
12	山内泉	夜		
13	白木正一	節分	1957年 (昭和32)	
14	白木正一	凧揚げ	1971年 (昭和46)	
15	白木正一	視	1973年 (昭和48)	
16	白木正一	鶏小屋の中の狼	1975年 (昭和50)	
17	栗原忠二	木の下で	1914年以降	
18	栗原忠二	林道	1920年代頃	
19	栗原忠二	帆船		
20	栗原忠二	野路	1930年 (昭和5)	第11回帝展特選
21	水野以文	冬の朝 I	1955年 (昭和30)	第11回日展
22	水野以文	夏池 I	1956年 (昭和31)	第12回日展
23	水野以文	冬池 I	1960年 (昭和35)	
24	水野以文	かいつぶり	1961年 (昭和36)	第4回新日展
25	水野以文	七井橋の見える	1968年 (昭和43)	第56回日本水彩展
26	水野以文	池の小島	1969年 (昭和44)	第57回日本水彩展
27	山中仁太郎	静物	1958年 (昭和33)	第20回一水会展
28	山中仁太郎	シャルトル	1964年 (昭和39)	第26回一水会展
29	山中仁太郎	ハイデルベルヒ	1964年 (昭和39)	第53回日本水彩展
30	山中仁太郎	湯ノ湖畔	1976年 (昭和51)	第38回一水会展
31	山中仁太郎	蔵王のおかま	1977年 (昭和52)	第39回一水会展

### 【新収蔵品】

No.	作家	作品名	制作年	備考
32	仲山計介	エオンタ9003	1990年 (平成2)	令和2年度新収蔵
33	仲山計介	彩秋	2002年 (平成14)	令和2年度新収蔵
34	仲山計介	四季日月山水図 屏風	2006年 (平成18)	令和2年度新収蔵
35	仲山計介	HATERU-MA屏風	2013年 (平成25)	令和2年度新収蔵
36	ミズテツオ	赤い裸婦	1986年 (昭和61)	
37	ミズテツオ	いわないけれどあおげばとおとし	2019年 (令和元)	令和2年度新収蔵
38	島田章三	人物	1983年	
39	島田章三	静物	1983年	
40	島田章三	雪の日	1986年 (昭和61)	
41	島田章三	人と花など	1989年 (平成元)	
42	島田章三	女と花	1992年 (平成4)	
43	島田章三	寺院と河	1969年 (昭和44)	
44	島田章三	ガーデンパーティー	1986年 (昭和61)	
45	島田章三	ギャラリー	1970年代後半～ 80年代前半	令和元年度新収蔵
46	島田章三	サンルーム	1970年代後半～ 80年代前半	令和元年度新収蔵
47	島田章三	みどりの中へ	1970年代後半～ 80年代前半	令和元年度新収蔵

## Ⅱ 展覧会事業

### 5. 個展

種 別 公募展  
会 期 令和2年11月24日（火）～12月20日（日）（浜松市美術館）  
会 場 浜松市美術館  
主 催 浜松市  
観 覧 料 ※館蔵品展同時開催  
担 当 内山 智恵

#### ◆浜松市長大賞（工芸部門）「記憶の中へ展」



#### ◆大賞（彫刻部門） 「流木と紙で造る動物展」



#### 趣 旨

浜松市第67回市展における大賞受賞者の内、希望者による個展を開催します。

## Ⅱ 展覧会事業

### 6. 浜松市第68回市展

種 別 公募展  
会 期 令和3年2月2日（火）～2月12日（金） 10日間  
主 催 浜松市  
観 覧 料 無料  
担 当 石田 博基、内山 智恵



浜松市美術館  
ポスター



#### 趣 旨

美術の創作と鑑賞を勧め、郷土の文化・芸術の向上を図るため、広く市民から作品を募集し、令和2年度第68回市展を開催します。

応募点数 315点  
絵画 199点  
彫刻 6点  
書 23点  
工芸 19点  
写真 68点



《絵画部門》 中村公則 「passes by…」



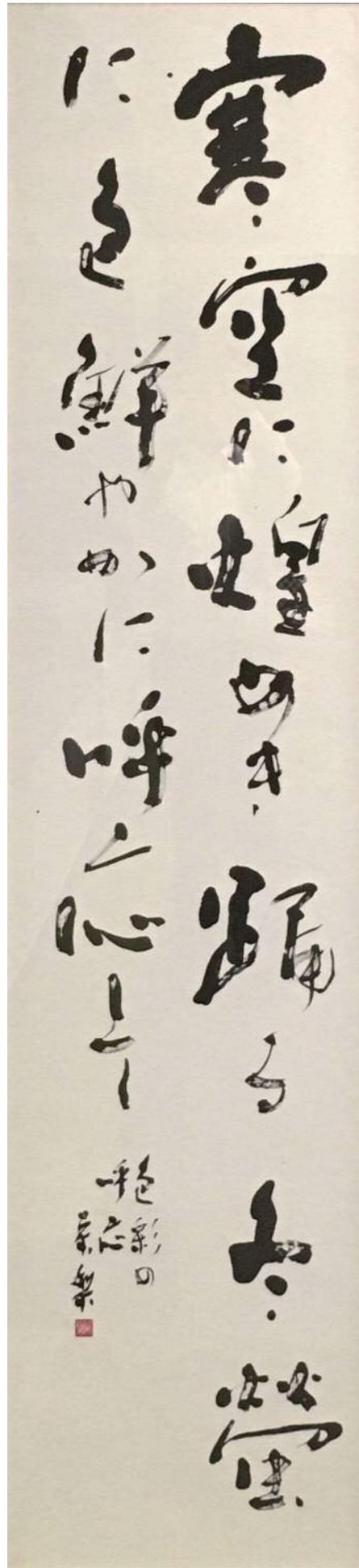
《写真部門》 竹内研人 「こうじょう」



《工芸部門》  
齋藤幸宏 「Darwin Fish ~  
海洋プラスチックごみを食べる進化魚」



《彫刻部門》 村井愛香 「可愛いブタさん」



浜松市 第六十八回 市展 市長大賞

《書部門》 名倉栄梨 「色彩の呼応」

### Ⅲ 教育普及事業

1 団体鑑賞（学校や施設等の団体の利用の受け入れ）

展覧会名	利用団体数	利用人数
仲山計介展	0	0
くまのパディントン展	0	0
挑む浮世絵展	0	0
新収蔵品展	0	0
合計	0	0

2 ギャラリートーク（学芸員・作家等による作品解説）

※新型コロナウイルス感染症防止のため中止

3 講演会（作家・専門家等による講演）

展覧会名	日程	講師	参加人数
挑む浮世絵展	10/11	津田卓子	53
合計			53



4 ワークショップ（展覧会の内容に応じた表現・鑑賞活動）

※新型コロナウイルス感染症防止のため中止

5 出前講座（収蔵品や展示作品をもとにした表現・鑑賞活動）

※新型コロナウイルス感染症防止のため中止

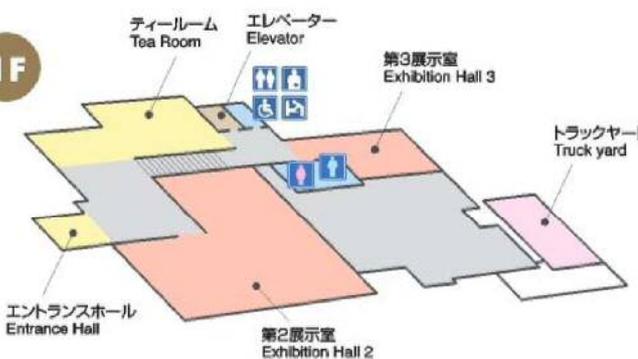
6 職場体験（中学生の職場体験・大学生の博物館実習）

※新型コロナウイルス感染症防止のため受け入れ中止

7 公募展（市民の作品展示の機会を提供）

展覧会名	日程	来館者数
第68回浜松市市展	10	6,144人
合計		6,144人

## IV 館内案内

館内案内																			
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">2F</div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">1F</div>  </div> </div>																			
<p><b>ピクトグラム一覧</b></p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p> 多目的トイレ Multipurpose toilet</p> <p> 女性用トイレ Ladies' room</p> <p> 男性用トイレ Men's room</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p> 撮影禁止 No photos</p> <p> 禁煙 No smoking</p> <p> 携帯電話使用禁止 Please do not use mobile phones in the exhibition areas</p> <p> 作品に手を触れないでください Please do not touch the artworks</p> <p> 作品を汚す恐れのある筆記用具は使用しないでください Please do not use writing instruments that may damage the artworks</p> </div> </div>																			
主要構造	Main Structure 鉄筋コンクリート造、地上2階一部地階および塔屋 Two-story reinforced-concrete building with a basement floor and a penthouse																		
建築面積	Building area 1,305.58㎡																		
延床面積	Floor area 2,631.02㎡																		
敷地面積	Land area 4,211.00㎡																		
施設内容	Facilities																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>第一展示室</td> <td>Exhibition Hall 1</td> <td>322.26㎡</td> </tr> <tr> <td>第二展示室</td> <td>Exhibition Hall 2</td> <td>318.20㎡</td> </tr> <tr> <td>第三展示室</td> <td>Exhibition Hall 3</td> <td>35.67㎡</td> </tr> <tr> <td>講座室</td> <td>Lecture Room</td> <td>100.10㎡</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>Meeting Room</td> <td>40.62㎡</td> </tr> <tr> <td>トラックヤード</td> <td>Truck yard</td> <td>140.89㎡</td> </tr> </table>	第一展示室	Exhibition Hall 1	322.26㎡	第二展示室	Exhibition Hall 2	318.20㎡	第三展示室	Exhibition Hall 3	35.67㎡	講座室	Lecture Room	100.10㎡	会議室	Meeting Room	40.62㎡	トラックヤード	Truck yard	140.89㎡
第一展示室	Exhibition Hall 1	322.26㎡																	
第二展示室	Exhibition Hall 2	318.20㎡																	
第三展示室	Exhibition Hall 3	35.67㎡																	
講座室	Lecture Room	100.10㎡																	
会議室	Meeting Room	40.62㎡																	
トラックヤード	Truck yard	140.89㎡																	
開館	昭和46年7月1日 Established on July 1, 1971																		
設計者	水野 瑛朗 Designed by Teruro Mizuno																		

編集・発行 浜松市美術館  
住 所 〒430-0947  
浜松市中区松城町 100-1  
電 話 (053) 454-6801  
F A X (053) 454-6829  
ホームページ <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/artmuse/index.html>  
e-mail [art-muse@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:art-muse@city.hamamatsu.shizuoka.jp)  
twitter <http://twitter.com/hamamatsushibi>